

かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室
発行責任者：亀田俊明 編集責任者：蔵本浩一

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)

index

- P2 … 地域医療を担う専門性を活かした
質の高い医療・介護の紹介
(シリーズ3：乳がん看護認定看護師のご紹介)
人間ドックの上手な受け方
- P3 … 画像診断室のご紹介
- P4 … 地域医療機関さまより
- P5 … 当院診療科より
- P6 … 泌尿器科より
(手術支援ロボット ダヴィンチ)
- P7 … スタッフひろば
- P8 … トピックス
勉強会情報



〔03〕 乳がん看護認定看護師のご紹介

高度臨床専門職センター 川名 清子

1. 乳がん看護認定看護師とは

現在乳がんは、女性の9～10人に1人が罹患するがんといわれており、毎年増加しています。年齢層も他のがんとは異なり40～60歳代と家庭や社会で役割を担う世代が多いのが特徴です。そのため、治療を受ける患者さまひとりひとり悩みや不安も異なります。悩みの解決方法として、インターネットやSNS上の間違った情報を信じてしまいがちなのも乳がん患者さまの特徴かもしれません。乳がん看護認定看護師は、乳がんの専門の知識・技術をもって個々の患者さまやご家族に寄り添った支援を心がけています。

2. 高度臨床専門職センターでの活動の実例

《外来での診察支援》

- ① **がん告知後の支援**：がんと告知された直後の患者さまに対し、辛い気持ちに寄り添います。
- ② **治療選択の支援**：納得した治療を受けていただくため、いくつかある治療の選択が患者さまご自身に託されることが多くあります。そのため自分がどうするべきか選択に悩む患者さまがいます。例えば、手術で乳房を残した方がいいのか、全部取った方がいいのかなど。正しい情報を提供し、患者さまやご家

族が納得していただける選択ができるよう支援します。

- ③ **治療中の支援**：医師には言えない症状の悩み、心の悩みを聞いています。そして解決方法を一緒に考えることもできます。必要があれば、医師に伝える仲介役も担います。

《入院中の支援》

- ① **手術後の病室訪問**：無事に手術が終わったことを祝い、退院に向けての具体的な不安についてお伺いし、退院後の生活を一緒に考えます。多くの患者さまは、外来でお会いしているの、「顔見知りの看護師さん」といった感じで話がしやすいようです。

3. 今後の展望

高度臨床専門職センターの乳がん看護認定看護師として3年目となります。多くの患者さまやご家族に名前を覚えていただき、また頼っていただき光栄に思っています。もっと信頼と安心をお届けできるよう、日々研鑽していく所存です。

また、患者さまだけではなく、地域を含めた医療スタッフ間の連携を深め、より良い医療に貢献していきたいと考えています。

人間ドックの上手な受け方

健康管理科 人間ドック専門医 馬嶋 健一郎

当院の人間ドックは、亀田クリニック5階の健康管理センターで行っています。外来ブースとは別フロアにあり、ゆったり受診することができます。検査機器は総合病院ならではの高いクオリティです。皆さまのご利用をお待ちしています。

人間ドックにはオプション検査が多数あり、どれを受けたいのかわかると迷われると思いますので、上手な受け方について説明します。

まず基本コースは高血圧・糖尿病・コレステロールなどの脂質異常がチェックできます。これらは死因上位にある心筋



梗塞、要介護状態にも関係する脳卒中(脳梗塞・脳出血など)や認知症を防ぐための対策になりますので重要です。また、腹部超音波検査で肝臓がん、腎臓がんなどのチェックができ、便潜血検査はがん死因2位である大腸がんの検診になります。

別途追加するオプション検査はご自身で選択する必要がありますのでお勧めの検査を紹介します。がん死因1位の肺がん対策としては肺CT検査がお勧めです。基本コースの胸部X線検査では肺がん早期発見は難しいですが、CT検査は格



メディカルレポート 画像診断室のご紹介

室長 加藤光久

画像診断室では診療のために放射線（X線や放射性同位元素など）を用いた撮影や検査・治療、磁気や電波を利用したMRI検査、高エネルギー放射線を利用した放射線治療などの業務を担当しています。

スタッフは、診療放射線技師、臨床検査技師、看護師、受付事務で構成され業務の内容から、放射線診断部門・放射線治療部門・核医学（PET-CT含む）の3部門に分かれ業務を行っています。

放射線診断部門

- 胸部X線撮影や骨のX線を撮影する一般撮影やCT検査、MRI検査、血管造影等の画像診断を行っています。現在の医療における画像診断の情報は病気の具体的な診断、治療方針の決定や治療効果の判定に欠かせない重要な役割を担っています。
- 近年では診断のみならずMRと呼ばれる低侵襲の治療を脳、心臓、下肢、など全身の血管や腫瘍に対して血管閉塞や狭窄、動脈瘤の治療および腫瘍に対する血管内治療を放射線科医師はじめ各診療科と共にチームとして行っています。

放射線治療部門

- リニアックを用いて、高エネルギーX線や電子線を照射して、悪性腫瘍に対する放射線治療を行っており、治療目的で治療する場合や疼痛などの症状を緩和する目的で治療する場合があります。
- 特殊な治療も行っており、定位放射線治療は直線加速器を用いて小さな腫瘍に正確に高線量を照射する治療で、当院では主に早期の肺がんに対して行っています。全身照射は白血病患者などに対する造血幹細胞移植の前処置として行うもので、全身にX線を照射する治療法です。IMRTは腫瘍の近くにある正常組織を避けて腫瘍の形状にあわせて照射する治療法で、前立腺がんや頭頸部がんが対象になります。子宮頸がんに対する腔内照射に対してはRALS（遠隔操作小線源治療装置）という専用の装置を用い治療を行っています。

核医学部門

- 放射性同位元素（R: Radio Isotope）を患者さまに投与して、病気の診断や治療をします。体の中に入った放射性医薬品は診断したい臓器に集まり、γ線というX線と似た放射線を出します。体の中から出てくるこのγ線をガンマカメラでとらえて、放射性医薬品の分布を画像化し検査値にします。

- 核医学検査は、検査が簡便で痛みがなく、副作用の心配がほとんどありません。臓器の形・大きさ、さらに、臓器の働き具合や病気のものの活動性がわかります。

- PET-CT検査では使用薬剤として主にブドウ糖をアイソトープで標識したFDGを用いがんの診断を行っています。細胞はブドウ糖をエネルギー源として使っていますが、がん細胞は正常組織より、栄養であるブドウ糖をたくさん取り込みます。したがってFDGもがん組織に多く取り込まれ、この部分から周囲の正常組織より強い放射線が出てきます。つまりPETはがん細胞の機能（活動性）を反映する検査といえます。また、CT装置の組み合わせにより的確な診断が可能になります。

診療における放射線の役割は機器の進歩や技術の発達により支えられ日々重要性を増しています。亀田総合病院画像診断室では、最新の機器・技術を取り入れながら質の高い放射線診療を患者さまに提供し続けるよう日々研鑽を続けていきたいと思っております。

段に発見能力が増加します。がん死因3位の胃がん、食道がんへの対策にもなる上部内視鏡検査（胃カメラ）も精度が高いのでお勧めです。他に男性は前立腺がんへのPSA血液検査、女性は乳がんへのマンモグラフィと乳房超音波検査、子宮がん・卵巣がんへの子宮頸部細胞診と婦人科超音波検査がお勧めです。また、将来の要介護状態回避のために新規導入した筋肉・歩行力検査と、骨密度検査も皆様にお勧めできます。

以上が広くお勧めしているオプション検査ですが、他にも大腸がん検査の最高峰である大腸内視鏡検査、脳卒中予防が期待される脳画像検査（MRI・MRA）、限られた施設でしか提供できないPET-CT検査と冠動脈造影CT検査、新規導入した膵臓ドックなど各種検査がありますのでお好みで選択ください。

人間ドックは毎年受診がお勧めですが、各オプション検査

には推奨間隔がありますので予約時にお尋ねになると良いでしょう。検査開始年齢はがんの種類によって異なりますが、中年になれば誰でも色々ながんや脳卒中・心臓病など重大な病気になる確率がグンと上がってきます。今までお受けになっていない方もこの機会に一度人間ドックを受診してみたいかがでしょうか。また、患者さまの健康管理にも是非人間ドックをご活用ください。なお肺CT検査などは単独での検査コースもご用意しています。

お問い合わせ先
04-7099-1115(10:00~16:00)



亀田クリニック人間ドックホームページ→

<http://www.kameda.com/ja/clinic/consult/dock/index.html>

地域医療機関さまより



みすず
医療法人美篤会 中原病院
副理事長 中原 徳弥



▲中原病院外観

こんにちは。医療法人美篤会中原病院です。

当院は、大正6年初代中原徳彌先生



▲中原先生(中央)と透析室スタッフ

が和田町仁我浦に中原病院を開院。昭和の時代は前理事長、中原和夫先生が昼夜を問わずの診療とバイクによる往診で、和田町の漁村部から山間部における地域医療を支えてまいりました。そして、現理事長の中原和徳先生が、団塊世代が75歳を超える超高齢社会にむけて、地域の高齢者福祉に貢献すべく病院規模の拡充と安房郡市内各所に介護施設を開設。太平洋を眼下に臨む南房総市和田町に位置する病床数109床(介護療養病床24床・医療療養病床85床)の長期療養型病院です。主に、長期にわたる入院医療、看護、介護の必要な慢性期の患者様の受け入れをしています。

外来診療部門では、内科、透析科、消化器内科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科の診療科を設け、地域の小児から高齢の患者様まで、CTや内視鏡検査などの各種検査、診療を幅広く行っております。

透析センターは、今年で開設17年目を迎えました。透析専門医である副理事長、中原徳弥先生を中心に、臨床工学技士3名、看護師8名、看護補助4名で、現在、約100名(入院約60名、外来約40名)の患者様の透析治療を行っております。安房地域では、独居や高齢世帯の透析患者様も多く、週3回の定期的な通院は、患者様本人にもご家族様にも大きな負担となっています。当院で



は、ご自宅の玄関から透析室入室まで、送迎のお手伝いをさせていただいております。現在、心優しく頼もしい9名のドライバーさんが、安房地域全域の透析患者様を安全運転で送迎支援しています。また、外来診療、歯科診療に来院される患者様の送迎も行なっております。

リハビリ部門は、現在、理学療法士5名、作業療法士3名が入院および外来患者様のADLの維持、改善と、患者様のQOLの向上に日々取り組んでいます。

また、病院に隣接する中原歯科医院では、(昭和45年、現理事長の中原和徳先生が開院)歯科診療(う歯、歯周病の予防・治療、義歯の作成)、矯正歯科診療を行っております。併せて、当院入院の患者様、関連各施設の入居者様の歯科診療、口腔ケアにも協力しています。

関連施設として、認知症の方が安心して穏やかな生活を送れるグループホーム7ユニット入居者計63名(南房総市に美しの里・安房穂、鴨川市に花水神、鋸南町に和季)、和田町北三原に、その方に適した介護サービスを受けながら生活できる、サービス付き高齢者向け住宅(南房総里見・入居定員50名)の介護施設を運営しております。

在宅部門においては、通所リハビリテーション(中原デイケアセンター)、通所介護(中原デイサービスセンター)を設置。また、現在は、介護保険を利用し、ご自宅でリハビリを受けられる訪問リハビリテーションにも力を注いでおります。

居宅介護支援事業所では、2名の介護支援専門員が地域の高齢者の方々が、1日でも長く住み慣れた家で在宅生活を継続できるよう居宅介護サービス計画における相談、調整支援をしています。

中原病院グループは、地域の高齢者の方、認知症の方が安心して生活が送れるよう在宅生活での医療、介護面からの支援をしています。また、認知症の進行やADLの低下、生活状況や病状の変化に応じて、関連施設への入居や入院をご案内することにより、継続的に患者様のケアが行なえるよう対応しております。

今後も、中原病院グループ職員は一丸となって、地域医療に貢献できるよう、より質の高い医療と介護の提供ができるよう努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

当院診療科より

透析科

泌尿器科部長 / 透析センター長 久慈 弘士



透析科は、腎臓高血圧内科と泌尿器科の医師15～20名（うち、日本透析医学会の専門医8名）、コーディネーター看護師と診療看護師1名ずつで診療にあたっています。

当院の透析診療内容としては、まず、進行した慢性腎臓病に対する透析の導入と維持が挙げられます。導入者数は年間70～100名程度、現在外来で維持している患者数は血液透析195名、腹膜透析36名です。また、合併症にて入院された他院の透析患者さまが20～30名程度おられ、重症または要隔離の場合は病棟に出向し個別に透析を行っています。その他、急性腎障害あるいは手術中に行う持続血液透析（濾過）、肝不全や免疫疾患をはじめ血液型不適合腎移植など数多くの適応に対するアフレーシス、腹水濾過濃縮再静注等、ほぼすべての血液浄化療法に対応しています。

外来通院と比較的安定している入院患者さまの血液透析は、2022年5月に移転したG棟6階透析センターにて行っています。透析センターには、現在看護師26名、ME 17名が在籍し、機器管理や、出向透析を含む透析手技と患者ケア、シャントエコーや下肢血流検査（SPP, ABI, LDF）等のベッドサイドで行う検査など、多岐にわたる実務を担っていただいています。

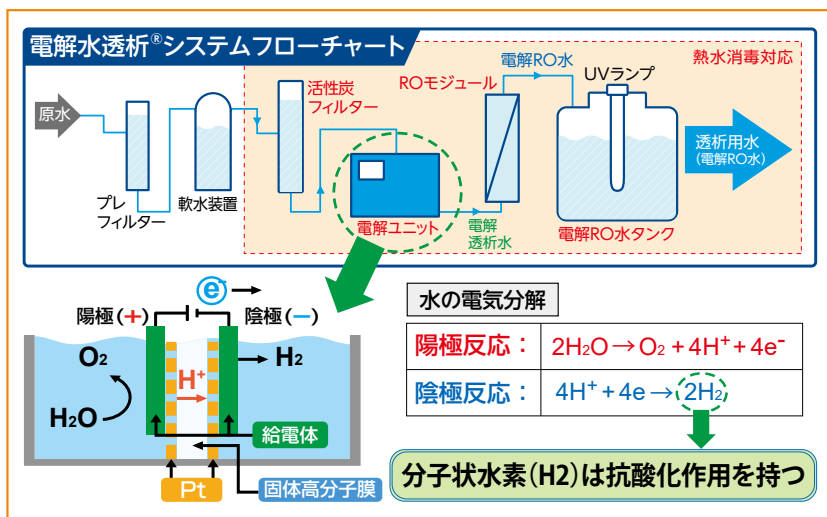
移転に伴い機器類と配管は一新され、清浄度の高い無菌・無エンドトキシンの透析液を使用し、全台オンラインHDF（透析液を直接患者回路内に入れて透析とともに濾過を行う治療）が可能です。これにより、透析アミロイドシスの発症抑制やレストレスレッグス

症候群、透析関連皮膚掻痒症、透析困難症の軽減を図っています。また、全国的にもまだ1%弱の普及率である電解水透析システム（水を電気分解して得られる水素分子が溶存した透析液を使用）を採用しており、透析中に発生する酸化ストレスを中和することで、透析後の疲労感の軽減、心血管イベント発生抑制、生命予後延長効果が期待できます。

腹膜透析は、透析科のメイン病棟であるB棟8階の中に外来を設けており、導入期から外来通院まで一貫して専任看護師のきめ細かな指導を受けることが出来ます。また、腹膜機能やライフスタイルに応じて個々に適合する透析メニューを作成し、症例によってはwebでの透析状況把握と透析メニューの遠隔設定操作ができる自動腹膜灌流を選択しています。

バスキュラーアクセス（VA）とペリトネアルアクセス（PA）の手術も行っており、VAは内シャント（自己血管、人工血管）、動脈表在化、長期留置型カテーテルを個々の症例に応じて選択し作成しています。VAの主な合併症であるシャント狭窄・閉塞の治療は、経皮的血栓除去・血管拡張術を第一選択とし、近年上市された薬剤コーティングバルンやステントグラフトも積極的に使用し開存率の向上を図っています。PAは位置異常が少なくカフ感染に対応しやすいロングシュートカテーテルを用い作成しています。腎機能に余裕のある方は、カテーテルを皮下に埋没しておき透析が必要になったときに取り出すSMAP法で行い、透析液漏れの防止や入院期間の短縮効果が得られています。

最後になりますが、地域のご施設の皆様方には、日頃から患者さまをご紹介頂き、また、当院からの転院を快く受けてくださり、この場を借りて深謝申し上げます。当院は今年、移植施設の認定を受け献腎移植にも対応可能となりました。患者さまにとって最適で質の高い腎代替療法を提供できるよう、より一層努力して参る所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



※日本トリムHP (https://www.nihon-trim.co.jp/product/ew/ew_hd/) より一部抜粋

泌尿器科より

手術支援ロボット ダヴィンチXi(da Vinci Xi)

泌尿器科部長 内視鏡下手術センター長 安倍 弘和

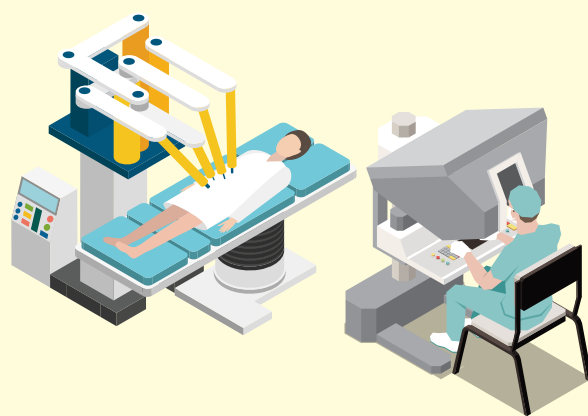
当科では泌尿器科疾患のあらゆる場面で低侵襲手術の導入を進めてきました。前立腺肥大症、骨盤臓器脱、尿路結石などの良性疾患、前立腺がん、膀胱がん、腎がんなどの悪性疾患いずれにおいても国内で有数の手術件数となっています。泌尿器悪性疾患には特に腹腔鏡下手術の技術面、最新機器の導入に注力し、術後早期回復、機能温存などに取り組んでいます。中でも本邦では前立腺がん罹患率は男性の部位別がん罹患割合の第一位となり、多くの方が手術を受けられています。亀田総合病院においても前立腺がん手術は増加の一途をたどっています。

当院で行われる前立腺がんの手術(腹腔鏡下前立腺全摘除術)は尿禁制(尿漏れがない)、勃起機能を温存する手術を確立させてきました。そのような取り組みもあり当科の門をたたく若い泌尿器科医も増えています。沢山の患者さまの手術を少ない医師で治療するには限界があります。腹腔鏡下前立腺全摘除術とダヴィンチによるロボット支援手術の治療経過は当院では全く変わりませんが、唯一の問題点は若手医師が腹腔鏡下前立腺全摘除術をできるようになるまでに、かなり時間を要するという点でした。ダヴィンチによるロボット支援手術は誰でも操作が簡単ですぐにマスターできるというメリットがあります。開腹と比べて、「尿失禁が少ない」、「勃起機能の回復が早い」などの報告もありますが、あくまでも人がする手術でロボット支援手術だから尿失禁が少なくなるわけではありません。尿禁制を保つメカニズムや機能悪化させない縫合方法などな

ど、当院での手術方法を腹腔鏡あるいはダヴィンチ手術で若手医師が学ぶ場を提供できればと考えています。

現在、腹腔鏡下前立腺全摘除術、ダヴィンチによるロボット支援手術の両方を施行していますが、当院では腹腔鏡下手術と同様に、尿禁制、勃起機能温存においても変わりません。腹腔鏡で行う手作業とロボットで行う手術の目標が変わらないからです。繰り返しになりますが、ダヴィンチによるロボット支援手術は腹腔鏡下に行う手術で、出血も少なく、誰でも簡単に操作できる手術道具です。当科ではERAS(Enhanced Recovery After Surgery：術後早期回復)プロトコルにて術後3時間より歩行開始、食事開始など個々の体調に合わせ術後の早期回復に努めています。痛みのコントロールは中でも重要と考えており、積極的な疼痛緩和を提供しています。手術後7日目に退院となります。

ロボット支援手術を行うことで、気付くこともあります。一人で手術をする操作が多く、コミュニケーションの取り方や手術技術を伝えるためにどのような工夫が必要かなど課題も増えました。現在、泌尿器科、呼吸器外科、肝胆膵外科、上部消化管外科、下部消化管外科、婦人科、ウロギネ科、乳腺科がロボット支援手術に取り組んでいます。各科と連携し安心安全なロボット支援手術が届けられていると思います。



スタッフ ひろば

地域医療連携室
メンバーから

今回のご紹介内容

- ・氏名
- ①部署 / 職種
- ②一番幸せな時
- ③“お年玉”何歳まで
もらってた？



蔵本 浩一

- ①診療部 疼痛・緩和ケア科 医師
- ②釣りをしているとき
- ③学生時代まで



大川 薫

- ①診療部 在宅診療科、地域医療支援部 医師
- ②温かいコーヒーを飲んでいるとき
- ③中学校くらいだったような気がします



草薙 洋

- ①診療部 消化器外科 医師
- ②お酒を飲んだとき
- ③20歳



宮地 康僚

- ①診療部 腫瘍内科 医師
- ②おいしいご飯に合うおいしいお酒を仲がよい人と楽しむ時
- ③17歳



渡邊 八重子

- ①看護管理部 看護師
- ②愛犬2匹と天気の良い日に散歩している時
- ③中学校まではもらっていたと思います



影山 ユウ子

- ①地域医療連携室 看護師
- ②コンサート遠征に行く前にウキウキしながらその準備をしている夜
- ③高校3年生



川上 由美

- ①看護管理部 看護師
- ②何も考えずに家でのおんびりしている時
- ③18歳くらい



吉野 有美子

- ①総合相談室 看護師
- ②素敵な景色をボーとみている時
- ③20歳



安室 修

- ①薬剤部 薬剤師
- ②サウナ
- ③22歳(大学4年生)までもらってました…



鎌田 喜子

- ①総合相談室 MSW
- ②高原で酒を飲んでいる時、おいしいそばがあるととっても幸せ
- ③18歳としておきます



児玉 照光

- ①総合相談室 MSW
- ②食べたいと思っているものを食べられた時
- ③21歳まで



長江 弘子

- ①亀田医療大学 教授
- ②友人とおしゃべりしながら美味しいものをたべているとき
- ③二十歳まで



中村 雅代

- ①地域医療連携室 事務
- ②家族で食事をする時
- ③高校生くらいまで



林 裕子

- ①地域医療連携室 事務
- ②愛犬と添い寝している時
- ③たぶん、20歳まで



黒川 亜純

- ①地域医療連携室 事務
- ②知らない土地を無計画に歩いているとき
- ③19くらい…?



伊藤 博章

- ①地域医療連携室 事務
- ②風が陽にあたる時、家族と食事をしている時
- ③22歳



生稲 秋穂

- ①地域医療連携室 事務
- ②好きな事に集中している時(料理、手芸、読書)
- ③18歳



大橋 洋子

- ①地域医療連携室 事務
- ②二度寝しようとしている時
- ③高校卒業まで

亀田総合病院スタッフの マイブーム

「社会人になって」

私のマイブームは美容院での散髪と日々の髪型のセットである。入職して数カ月、先輩達から「髪が長くなってきたから切ってきたよ!」と言われた。行きつけの美容院がないし、髪型に興味もないため、髪を切るのが面倒だと思いながら、嫌々近くの美容院に行った。またある時は、鏡を見て髪が長いと感じ、先輩に怒られたくないから髪を切りに行こうと思った。出身が千葉でないため、出身地の美容師さんにおすすめを教えてください、美容院に行った。「センターパートにしてパーマをかけてください」と伝え、パーマをかけている間どんな髪型になるのかドキドキしながら待った。美容院でセットされた髪型を見て、いつものボサボサの髪と全然違うと驚いた。今まで髪をセットしたことがなかったが、セットをした方が良かったと思った。美容院で髪型のセットを教えてください、毎日セットをした。その髪型を見た

先輩に「実験で失敗した人みたい、髪の毛が爆発してる!」と笑って言われ最初は少しショックだったが、私はその髪型をすごく気に入っている。美容師さん曰く、パーマは3カ月に1回程度のペースでかけるのが良いということだったので3カ月に1回のペースでパーマをかけて、自分に似合う髪型を探していこうと思う。

その後、もう一度美容院に行き髪の毛を切ってもらいセットして、出勤した際に先輩達から「以前の髪型よりいいよ!」って言ってもらえた。また、実験に失敗した人みたいって言っていた先輩から「今回の方が似合っている」と言われ少しうれしかった。

社会人になり、身なりや髪型を整える大切さ、髪型をセットする楽しさを先輩達の助言から教わった。これからも自分に合う髪型を研究し、毎日髪型のセットをしようと思う。
実験に失敗した人



勉強会・研修会開催のご案内

2022・2023年度スケジュール及び開催報告

1. 2022年度地域連携オンライン勉強会
『あるある症状シリーズ』*全3回・単発受講可能

第1回:【日程】2023年1月11日(水)18:00~19:00

【テーマ】急変予防~迅速評価・1時評価・2次評価

第2回:【日程】2023年1月25日(水)18:00~19:00

【テーマ】症状:発熱・腹痛

第3回:【日程】2023年2月6日(月)18:00~19:00

【テーマ】症状:窒息・意識障害

2. マインドフルネス勉強会

『ゆっくり過ごす時間を持つ~ご褒美の時間~』

【日程】2023年1月22日(日)9:00~16:00

【会場】亀田総合病院Kタワー13階 ホライゾンホール

【講師】マインドフルライフ研究所オフィス・らくだ主宰
井上ウィマラ先生

3. ELNEC-Jちばコアカリキュラム

【日程】1日目:2023年1月21日(土)9:00~17:00

2日目:2023年2月4日(土)9:00~17:00

【会場】亀田総合病院Kタワー13階 ホライゾンホール

今回ご案内しております勉強会・交流会ですが、
COVID-19の感染状況により、開催形式の変更や、延
期・中止の可能性もございます。ご了承下さいます
様お願いいたします。

4. 第12回地域連携交流会
『介護施設の看取り』

【日程】2023年2月15日(水)18:30~20:30(開場18:00)

【会場】亀田医療技術専門学校

【講演】NPO法人 フローラファミリー

館山ケアセンター 夢くらぶ

特別養護老人ホーム めぐみの里

【対象】医療機関及び施設の医療従事者・コメディカル

【締切】2023年2月4日(土)

【申込】QRコードから、もしくは同封の
申込書のFAXをお送りください。

5. 緩和ケア研修会 - 集合研修 -

【日程】2023年4月8日(土)9:00~17:30予定

【会場】亀田総合病院Kタワー13階 ホライゾンホール

【対象】医療機関等勤務医師・看護師・コメディカル

【定員】30名予定

*詳細は追ってご連絡いたします

詳細は同封のご案内をご参照ください。

1. 2. 3のお申し込みをご希望の方は、
恐れ入りますが、下記へご連絡をお願いいたします。

1	地域医療連携室	04-7099-1261
2・3	がん拠点病院推進センター	04-7099-1230